

# 第4章 実現目標

基本目標を達成するため、2026年度を目標年次とする目標指標を設定する。

## 一水源対策一

	目標指標	概ね5年前 (2012)	現況 (2017)	目標		説明
				2021	2026	
①	森林整備延べ面積 平成2年度以降実施した間伐の延べ面積累計	28,948ha	35,807ha	40,607ha	46,607ha	森林資源の現況を踏まえ、健全な人工林を育成するため、1年間に必要な間伐1,200haの実施を目指す。
②	地下水揚水量の適正確保率 地下水条例対象地域(8地下水区)における適正揚水量の確保状況	100%	100%	100%	100%	地下水の節水や合理的な利用を推進し、引き続き揚水量の実績が適正揚水量を上回らないことを目指す。

## 一治水・利水対策一

	目標指標	概ね5年前 (2012)	現況 (2017)	目標		説明
				2021	2026	
③	河川整備延長 河川整備が必要とされる区間延長のうち、概ね10年に1回の確率で発生する降雨(時間約50ミリ)以上への対策整備がされた延長	413.7km	420.8km	424km	428km	局所的な集中豪雨の頻発や都市化の進行により、依然として県内各地で浸水被害が発生していることから、引き続き、着実な河川整備を進める。
④	小水力発電の整備箇所数 中小河川、農業用水を利用した小水力発電所の整備箇所数	23箇所	42箇所	45箇所	60箇所	建設有望地調査の結果を踏まえ、今後も建設候補地の小水力発電所を確実に整備することを目指す。
⑤	土砂災害危険箇所の整備箇所数 保全人家5戸以上等の土砂災害危険箇所のうち、砂防施設が整備済みの箇所数	585箇所	613箇所	645箇所	670箇所	脆弱な地質が広く分布することや集中豪雨の頻発により、土砂災害が発生しており、今後とも砂防設備等の整備を進める。
⑥	水道水の満足度 県政モニターアンケートにおいて「満足している」又は「特に不満はない」と回答した人の割合	81.1% (2011)	84.5% (2018)	2~3年毎に県政モニターアンケートを実施	90%以上	健康志向への変化から従来の水道水から浄水器を通した水等へ多様化しているが、富山のおいしい水の啓発等により、満足度の向上を目指す。

## 一水環境対策一

	目標指標	概ね5年前 (2012)	現況 (2017)	目標		説明
				2021	2026	
⑦	水質環境基準の達成率 河川、海域及び湖沼の水質調査地点のうち、環境基準を達成している地点の割合 (河川(BOD)・海域及び湖沼(COD))	100%	100%	100%	100%	クリーンウォーター計画 <sup>(※1)</sup> 等の推進により、100%の達成維持を目指す。

序論	⑧	汚水処理人口普及率 下水道や農村下水道、浄化槽等の汚水処理人口の普及割合	95%	97%	98%	99%	富山県全県域下水道ビジョン2018に基づき汚水処理施設の着実な整備促進に努める。

(※1) クリーンウォーター計画(水質環境計画):水質環境を保全するための基本方向を示す計画であり、「きれいな水」と「うるおいのある水辺」の確保を目標としている。

一水を活かした文化・産業の発展一

	目標指標	概ね5年前(2012)	現況(2017)	目標		説明	
				2021	2026		
第1編	⑨	水文化に関する活動に取り組んでいる団体数 水とのふれあい活動や水文化の継承活動等を行っている住民・ボランティア団体等の数	182団体	217団体	230団体	240団体	活動している団体の継続に努めるとともに活動の普及も図り、2026年度までに約20団体の増加を目指す。
第2編	⑩	農村環境保全活動に取り組む集落数 農地、水路、農道等の地域資源の維持・質的向上を図る共同活動に取り組む集落数	895集落	1,406集落	1,500集落	1,600集落	多面的機能支払制度に取り組む農業集落を8割程度に拡大する。
第3編	⑪	水に関する生活の知恵や使い方に古くからのものが残っていると思う人の割合 県政モニターアンケートにおいて「思う」と回答した人の割合	48% (2011)	43.8% (2018)	2~3年毎に県政モニターアンケートを実施	意識の向上を図る	水に関する生活の知恵や使い方について、掘り起こしや活用に努める。

一地球的規模の水問題へのとりくみ一

	目標指標	概ね5年前(2012)	現況(2017)	目標		説明	
				2021	2026		
参考資料	⑫	大気環境基準の達成率 大気測定局のうち、環境基準を達成している測定局の割合	二酸化硫黄 100% 二酸化窒素 100%	二酸化硫黄 100% 二酸化窒素 100%	二酸化硫黄 100% 二酸化窒素 100%	二酸化硫黄 100% 二酸化窒素 100%	ブルースカイ計画(※2)等の推進により、引き続き100%の現状維持を目指す。
	⑬	節水を心がけている人の割合 県政モニターアンケートにおいて「常に」又は「どちらかといえば節水に心がけている」と回答した人の割合	85.8% (2011)	84.0% (2018)	2~3年毎に県政モニターアンケートを実施	90%	若年層も含め、今後も節水意識の拡大に努める。
	⑭	農業産出額	672億円	666億円	700億円	740億円	地産地消や食育などを推進するなかで、県民が求める安全、新鮮な農産物の生産、供給拡大を図る。

(※2) ブルースカイ計画(大気環境計画):大気環境を保全するための基本方向を示すための計画であり、「安全で健康的な大気環境の確保と次世代につなぐよりよい大気環境づくり」を目標としている